

2012. 11. 4

NPOフォーラム・だより No.50



NPO法人安房文化遺産フォーラム

代表 愛沢 伸雄

〒294-0036 千葉県館山市館山 95 小高記念館 TEL&FAX: 0470-22-8271

Eメール awabunka@awa.or.jp 公式サイト <http://bunka-isan.awa.jp/> Blog 安房国再発見 <http://awabunka.wordpress.com/>

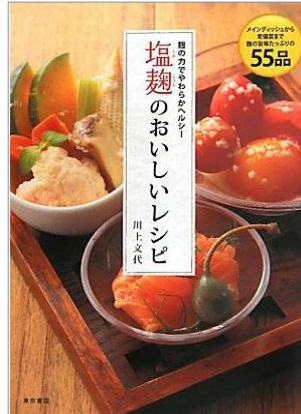
■ 川上文代さんの食文化講演会 「長寿安房のおらがごっつおと発酵食」

◎ 11月11日(日) 13:30~15:30 館山市コミュニティセンター2F 集団指導室 参加費無料(定員 60名)

文化庁=地域の文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業=

安房地域は、古くから長寿であり保養地として知られていますが、温暖で山海の恵みが豊かであったばかりでなく、農漁業をはじめ食文化に多様な知恵が活かされてきた歴史があります。

TV や雑誌などで活躍中の料理研究家・川上文代さん(館山ふるさとクッキング大使)は、館山の食材から新レシピを開発したり、塩麴のプロデュースなどを手がけています。今回は、昔ながらの食文化である発酵食を中心にお話を伺います。春になったら、館山の食材を活かしたオリジナルレシピの料理教室も企画中です。



■ 里見歴史紀行 其の壱「上総の国(市原市)」

◎ 11月23日(金・祝) 8:00館山市役所4号館出発 参加費:2,500円(バス代・保険料) 定員 25名

申込み: 島田輝弥 0470-27-4612・石崎和夫 0470-23-6677・金久ひろみ 0470-23-5769

- ・宝林寺(義堯の娘種姫菩提寺) ・琵琶首館跡周辺(梅王丸母子幽閉地) ・池和田城跡(国府台合戦参戦)
- ・光明寺(池和田城支城) ・旧里見村(里見駅など) ・高滝神社(義堯・義康ゆかり)
- ・木造地藏菩薩坐像(県指定文化財・日本最大木造地藏) ・上総国分寺跡(国史跡) ・上総国分尼寺跡(国史跡)

17年間歩み続けた「里見氏稲村城跡を保存する会(愛沢伸雄代表)」は、稲村城跡の国史跡指定をうけて解散し、新たに同好の士と共に「歩いて学ぶ里見氏の会(島田輝弥代表)=略称:ブラさとみ」をつくりました。この会は、里見氏にかかわる城跡や史跡を、直接現地に行き、じかに目で確かめながら学ぼうという会です。昼食・飲物持参、歩きやすい靴でご参加ください。

■ 知恵袋講座

…13:30~小高記念館 参加費 200円 NPOメンバーが語る楽しい茶話会です!

◎ 11月27日(火) 語り手: 溝口七生さん「安房の美術について」

これまで安房の芸術といえば、菱川師宣・武田石翁・波の伊八・後藤義光を代表とする浮世絵や石仏など文化財としての扱いが中心でした。しかし、青木繁に代表されるように、安房で制作された名作、安房出身の美術家、安房で活躍した美術家、…などなど安房にゆかりの深い芸術家は多くいます。幅広く見つめ直してみましよう。

◎ 1月22日(火) 語り手: 大場俊雄さん

「関澤明清の開いた水産伝習所と房総アワビ漁の変遷(仮称)」

水産学者の大場先生は、『房総アワビ漁業の変遷と漁業法』『あわび文化と日本人』『早川雪洲-房総が生んだ国際俳優』などの著者です。青木繁が滞在した小谷家住宅から発見された明治期の書簡(関澤明清)と重要水産動植物図にまつわる、近代水産業発展と館山の実習についてご紹介いただきます。

=関連報道~北國新聞 10/2付・朝日千葉版 10/13付=

12月は年の瀬につき、休会とします。よいお正月をお迎え下さい。

◆ ツアーガイド&講演のスケジュール

11月7日(水)夕方~8日(木)AM 岩手大学 OB会 24名=座学・戦跡基本

11月17日(土)10:30~16:30 東京全労協 25名=座学・戦跡基本

11月18日(日)夕方~19日(月)9:00~14:00 しばくさ会(民医連) 15名=座学・戦跡基本・かいた・四面

11月27日(火)11:40~12:00 三本松キリスト教会 8名=128高地(かいた)

11月28日(水) 日中友好協会千葉支部 30名=座学・赤山

11月30日(金)9:30~16:30 同和問題を考える宗教連絡協議会 50名=座学・赤山・かいた・四面石塔

12月2日(日)9:30~12:00 赤山ガイドサービス

12月4日(火)10:30~15:30 鹿嶋九条の会 25名=座学・戦跡基本

2012 秋の受賞の喜び

あいざわのぶお

愛沢伸雄氏 千葉県文化財保護協会より、文化財保護功労者受賞

北海道下川町生まれ。1979年より世界史教師として、千葉県立館山高校・安房南高校・長狭高校・安房高校の勤務を経て、2005年早期退職。1989年長期婦人保護施設「かいた婦人の村」の深津文雄牧師との出会いを機として、安房地域の歴史文化を調査し教材として授業実践を始めました。歴史教育者協議会を通じて教育実践が評価されると同時に、公民館活動を通じて戦争遺跡や城跡などの歴史文化遺産の保存を求める市民運動が広がりました。1996年より里見氏稲村城跡を保存する会代表、2002年より戦跡保存調査サークル代表をつとめ、2004年に館山海軍航空隊赤山地下壕が整備・公開され、翌年に館山市指定史跡となり、2012年に里見氏城跡(稲村城跡・岡本城跡)が国指定史跡となりました。現在は館山市教育委員会から、稲村城跡の保存管理策定計画委員を委嘱されています。これらの功績は法人としても、2006年あしたのまち・くらしづくり賞内閣官房長官賞、2008年千葉県文化の日功労賞、2009年文化財保存全国協議会第10回和島誠一賞、2010年日本都市計画家協会まちづくり教育部門特別賞に認められました。さらに、2005年から取り組んでいるまちづくり活動は、少子高齢化の進む地域の漁村活性化を目指し、館山市富崎地区コミュニティ委員会との協働により、青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会を発足、事務局長を務め、2009年青木繁が滞在した小谷家住宅は館山市指定史跡となりました。現在、全国の著名な美術家によるNPO法人青木繁「海の幸」会(大村智理事長)と連携を図りながら、小谷家住宅の修理復元の募金をすすめ、青木繁《海の幸》記念館(仮称)の開館を目指しています。

また、高校の平和学習・国際理解教育に始まったウガンダ支援活動は20年、ハンゲル「四面石塔」を活用した日韓交流は12年におよび、有益な国際民間交流を実践しています。著書『足もとの地域から世界を見る～授業づくりから地域づくりへ』ほか。



勲章受章記念碑
主催 大村智



ハ ジョンウン

河正雄氏 韓国政府より、宝冠文化勲章受賞

在日二世として大阪生まれ、秋田育ち。埼玉県川口市在住。光州市立美術館名誉館長。朝鮮大学美術学名誉博士。苦学の末起業した収益で在日画家の作品を収集・紹介し、祖国の光州市立美術館に2,200点、釜山市立美術館に440点、霊岩郡立河美術館に3,000点をはじめとし、日韓の美術施設に1万点を寄贈され、世界的にも珍しい個人メセナの実践者です。これまでも国民勲章冬柏章受勲、韓国芸術協会功労賞、京都市長賞表彰、韓国障害者の日・国務総理賞表彰、光州広域市名誉市民賞、光州広域市芸総功労賞なども受賞しています。

故郷の田沢湖畔(秋田県仙北市)で在日同胞の慰霊活動や、日韓の架け橋となった浅川巧・伯教兄弟の精神を学ぶ清里銀河塾(山梨県北杜市)を開催するなど、多様な活動をされています。河氏は、NPO法人安房文化遺産フォーラムの富樫研二氏と竹馬の友であり、同会員の船田正廣氏制作の青木繁《海の幸》彫画レリーフを敬慕し、いずれ祖国に常設したいと所望され、青木繁《海の幸》誕生の家と記念碑を保存する会の会員として当会の活動を支援してくださっています。著書『祈りの美術』『韓国と日本、二つの祖国を生きる』ほか。



おおむら さとし

大村智氏 日本政府より、文化功労者受賞

山梨県韮崎市生まれ。女子美術大学理事長。北里研究所前名誉理事長、同大学名誉教授。薬学博士、理学博士、天然物有機化学者。実録評伝『大村智-2億人を病魔から救った化学者』(馬場鍊成著・中央公論社)に詳しいが、都立の夜間高校教師を経て研究者となり、数々の有用な微生物由来の生理活性物質を発見していきました。人類の健康に貢献した偉大な功績により、2011年瑞宝重光賞、1992年紫綬褒章、1990年日本学士院賞はじめ多くの国際的榮譽に顕彰されています。研究成果は産学連携によりロイヤリティ収益を北里研究所や病院に還元し役立っています。一方、美術への造詣が深く、生まれ故郷に韮崎大村美術館を創設、さらに館山市布良の小谷家住宅の保存基金創出のためのNPO法人青木繁「海の幸」会理事長としてもご貢献いただいています。

